

～社会的孤立問題を考える～

注目！地域のつながりをとりもつ人たち

2013年7月20日(土) 午前10時～12時30分

会場：明治学院大学白金キャンパス2号館 (最寄り駅：白金高輪・白金台・高輪台駅)

今、「社会的孤立」問題が注目されています。孤立問題が広がりをみせる中、地域という現場でそれに立ち向かう様々な立場の市民や専門職がいます。個々の人々の状況に合わせて孤立状態に陥らぬよう取り組んでいます。本講座では、「人と人とのつながりをとりもつ実践を担う人たち」に注目します。その実践活動を紹介し、市民としてできることをいっしょに考えたいです。

●実践報告4：中村今治

NPO法人トータルヒューマンネット21理事長
(ケアホームレインボー白金)

トータルヒューマンネット21は、知的に障がいをもつ人が地域で安心して暮らせるよう住居の提供と自立的生活の支援をするケアホームを運営しています。レインボー白金を拠点とする、人と人とのつながりをとりもつ実践についての報告です。

●実践報告5：築田晴

高輪地区高齢者相談センター相談員/本学卒業生

高齢者相談センターは、高齢者や介護をしている家族の総合的な相談・支援の窓口です。地域の高齢者支援のネットワークの拠点でもあります。併設のふれあい相談室(一人暮らし高齢者等みまもり推進事業)設置で見えてきた現状を報告します。

コーディネーター：鍛冶智也(港区地域こぞって子育て懇談会実行委員/明治学院大学法学部教授)

●実践報告1：廣田千秋

港区地域こぞって子育て懇談会実行委員/みなと子育てネットWa.Wa.Wa/おおきなき

「地域こぞって子育て」とはまさに地域のつながりの中で子育てしよう！です。地域行事はあるけど、やっぱり人と人とをとりもつ人の存在が重要！と、子育て支援活動を通じての報告です。

●実践報告2：加藤三奈・丸山宗一

港区社会福祉協議会小地域福祉活動担当

身近な地域のつながり術として、「みんなと地域の福祉活動」推進を担当するコーディネーターからの報告です。サロン活動や声かけ見まもり活動など、人と人とのつながりをとりもつ実践の後押し役です。

●実践報告3：渡辺修二

いきいきサロン主宰/民生児童委員/
シーリアお台場5番街6号棟自治会会長

近隣の高齢者のお茶会から始まったサロン活動のこと、民生児童委員としての活動・防災に焦点化した自治会活動など、いくつかの立場を活用しながら進める人と人とをとりもつ活動の報告です。

◆申込：Eメール・FAX・TELにてお申込みください。(先着順にて受付、定員50名)

対象：どなたでも、テーマに関心のある方

手話通訳あり：希望する方は7月12日(金)までに下記へお申込ください。

保育あり：未就学のお子さん定員5名程度(定員超えた場合抽選)7月12日(金)までに下記へお申込ください。

<申込み先・問い合わせ先> 明治学院大学社会学部付属研究所

〒108-8636 港区白金台1-2-37

Eメール jssw@soc.meijigakuin.ac.jp

TEL 03-5421-5204・5205

FAX 03-5421-5205